

りんどうの品種

品種名 F1早生2 (仮称)

野菜花き部

1. 来歴

母系は昭和40年に北海道産と称する株を種苗業者から購入し、岩手県園芸試験場で栽培した。

その中から花色、草姿の優れたものを43年には種した。

その後45年にこの実生個体の中から優良と思われるものを5系統選び、自殖採種し、47年に2系統を選抜した。その後は両系統毎に集団で選抜を重ねた。

父系は、昭和38年に福島県の吾妻産と称する株を業者から購入し、岩手県園芸試験場で栽培を続けた。この中から花色の優れたものを42年に選抜し、実生を開始した。その後、45年にこの実生個体の中から優良と思われるものを25個体程選び自殖させ翌年は種した。

この中に花色が濃く、草姿の揃っている系統があることを確認したのでその後は集団で選抜を重ねた。

交配組合せは、母系2系統と父系1系統を54年に交配させ、55年以降、栽培調査した結果、目的とする形質が得られ均一性があることが確認された。

特性の概要

1) 繁殖法：種子（一代雑種）

2) 特性

開花期は平坦地（北上附近）の露地で平年8月10日前後で早生系としては、やや遅いが従来の北海道系よりは4～5日早い。

草丈は1m前後で茎の太さは中程度で揃って強く、茎立数も多い。茎の色は黒紫色をおびており側枝の発生は、ほとんどない。

葉の大きさは、中程度であるが垂れない。

花色は、濃青紫色で、花段数は、4～5段前後である。開花順序は上下がほとんど同時に咲く。（表1、表2）

3) 適応作型：露地及び半促成栽培（留意点 3）参照）

3. 奨励品種に採用したい理由

現在本県で栽培されている早生系品種は、北海道産の選抜系「北海道系」が使用されているが、この品種は、まだ固定度も低いために開花期及び品質が不揃いである。

この欠点を改善しようとして、育種を続けてきた結果目的とする形質がほぼ得られる新品種が育成されたので奨励したい。

4. 適応地域 県下全域

5. 栽培上の留意点

- 1) この品種は一代雑種のため、採り返しの種子は、品質が著しく低下するので使用しない。
- 2) 県北部等冷涼地帯での露地栽培は盆前の出荷は困難と思われる。
- 3) 早生系品種としてはやや遅い品種のため、半促成栽培ではミニパイプハウス等を使った比較的晚い作型に適する。
- 4) 栽培方法は従来の北海道系の栽培法に準ずる。
- 5) 参考文献 昭和57.58年度 岩手果園芸試験場花き試験成績書

6. 試験成績

表1 特性の概要

(57年)

項目 系統名	開花期 (月・半旬)	開花順序 (上全下)	花色 (カラー・ポイント) (1~7 大中小無)	花弁斑 点の程度 (大中小無)	花段数 (実数) 段	花数の多 い位置 (上全下)	草丈 (実数) cm	茎の太さ (太中細) 3 2 1
F ₁ 早生2	8・1	○ 全	○ 6	○ 小	△ 4~5	○ 上	97	○ 2
対照(北海道系)	8・2	△ 下	△ 5	△ 中	× 5~6	△ 全	95	× 2

茎の強さ (強中弱) 3 2 1	茎の色 (緑中黒) G B B	節間長 (長中短) 3 2 1	側枝数 (多中少無) 3 2 1 0	茎立数 (多中少) 3 2 1	葉の形 (立中平) 3 2 1	葉の大きさ ア テ ヨ コ (長中短) (広中狭) 3 2 1 3 2 1	葉色 (濃中淡) 3 2 1	総合評価 ○ △ ×
3	○ B	○ 中	○ 0	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 3
2	△ B	△ 中	△ 1	△ 1	△ 1	△ 3	△ 2	△ 3

注1. 項目の中の○△×の表示は揃いの程度を示す。

○-----揃っている

△-----やや不揃

×-----不揃

2. 開花期：全体の50%程度開花した時期
3. 茎の太さ：草丈の1/2の位置
4. 茎の色：上部の位置
5. 節間長：上部(3/5附近)の位置
6. 葉の太さ：上部(3/5附近)の葉
7. 花 色：カラーチャート(1~7)は淡~濃を示す。
8. 総合評価：○ 良 △ やや良 × 不良

表2 「F1早生2」の実生3,4年株(成令株)の主要な特性

(57, 58年)

項目 株令	草 丈 (cm)	茎立数 (本)	茎の直径 (mm)	節 数 (節)	節間長 (茎中央部) cm	葉 長 (cm)
3年株 (57年)	96.7	6.3	4.6	23.7	4.8	7.9
4年株 (58年)	100	12.4	4.2	25.9	4.4	7.8

葉 幅 (cm)	花 段 数 (段)	茎当り総 花数 (コ)	花 の 大 き さ cm		平均開花日 (月:日)
			長 さ	直 径	
2.7	5.1	44.4	4.5	1.2	8:4
2.6	4.1	38.0	4.8	1.4	8:14